

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 商業販売統計(2007年10月)

発表日2007年11月28日(水)

～財消費はやや回復～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 副主任エコノミスト 長谷山 則昭
TEL : 03-5221-4525

(単位: %)

		商業販売額										コンビニ販売額	
		卸売業		小売業		大型小売店			百貨店	スーパー	前年比	既存店前年比	
		前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	既存店前年比	既存店前年比			
05	10月	1.8	1.2	2.5	1.9	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 1.9	▲ 3.4	▲ 0.4	▲ 5.4	0.5	▲ 3.0
	11月	3.9	1.9	5.0	2.4	0.6	0.7	1.8	0.8	3.1	▲ 1.0	▲ 0.5	▲ 3.9
	12月	4.5	1.0	5.6	1.0	1.2	0.6	0.7	0.6	0.9	0.3	0.1	▲ 3.4
06	1月	5.4	2.2	7.5	2.5	▲ 0.5	2.5	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 0.9	▲ 4.2	0.3	▲ 3.2
	2月	5.7	▲ 1.4	7.1	▲ 1.2	1.2	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 1.9	0.3	▲ 3.3	1.2	▲ 2.4
	3月	3.3	▲ 3.5	4.0	▲ 4.7	1.1	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.3	1.8	▲ 1.9	0.7	▲ 2.6
	4月	3.6	2.4	5.1	3.2	▲ 0.9	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 0.4	▲ 1.3	▲ 1.8	▲ 5.0
	5月	6.6	1.3	8.8	1.5	0.1	0.7	▲ 0.9	▲ 1.6	▲ 1.2	▲ 1.9	0.2	▲ 2.9
	6月	4.4	0.2	5.7	0.2	0.2	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 1.2	▲ 1.9	▲ 0.7	3.2	0.6
	7月	4.8	▲ 0.9	6.4	▲ 0.9	▲ 0.1	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 1.4	▲ 1.4	▲ 1.3	▲ 2.4	▲ 5.2
	8月	5.6	5.0	7.0	6.4	1.0	1.3	0.6	0.1	▲ 0.8	0.7	0.8	▲ 1.8
	9月	3.2	▲ 6.5	4.0	▲ 8.2	0.5	▲ 1.5	0.8	0.8	1.3	0.4	▲ 0.8	▲ 3.4
	10月	6.0	5.1	7.9	6.9	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 1.4	2.0	▲ 0.6
	11月	3.5	▲ 0.8	4.7	▲ 1.2	▲ 0.3	0.2	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.3	▲ 1.2	1.1	▲ 1.5
	12月	2.2	▲ 1.1	2.9	▲ 1.4	▲ 0.2	0.0	▲ 1.6	▲ 2.4	▲ 2.2	▲ 2.6	2.2	▲ 0.2
07	1月	2.2	3.3	3.3	4.1	▲ 0.9	2.8	0.6	▲ 0.5	0.0	▲ 0.9	1.7	▲ 0.7
	2月	3.0	▲ 0.5	3.9	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 0.8	1.4	0.5	1.5	▲ 0.2	1.3	▲ 1.1
	3月	1.3	▲ 5.8	1.9	▲ 7.4	▲ 0.7	▲ 1.3	▲ 0.3	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 0.9	0.9	▲ 1.4
	4月	4.3	6.7	5.8	8.6	▲ 0.7	0.3	▲ 0.8	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 2.0	1.6	▲ 0.6
	5月	5.9	1.5	7.7	2.0	0.1	0.6	0.3	▲ 0.8	▲ 0.7	▲ 0.9	1.7	▲ 0.6
	6月	4.1	▲ 1.4	5.4	▲ 1.9	▲ 0.4	▲ 0.8	1.8	0.9	5.1	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 4.2
	7月	4.0	▲ 0.4	5.9	0.4	▲ 2.3	▲ 2.5	▲ 2.5	▲ 3.8	▲ 4.4	▲ 3.3	2.1	▲ 0.2
	8月	3.0	3.7	3.8	3.8	0.5	3.9	1.7	▲ 0.1	1.1	▲ 0.8	2.1	▲ 0.2
	9月	1.1	▲ 8.1	1.2	▲ 10.4	0.5	▲ 1.5	▲ 0.2	▲ 2.0	▲ 2.7	▲ 1.5	2.1	0.0
	10月	4.3	8.5	5.3	11.6	0.8	0.3	▲ 0.2	▲ 1.8	▲ 1.6	▲ 1.9	0.9	▲ 0.3

(出所) 経済産業省「商業販売統計」

○10月の小売業販売額は前年比+0.8%と3ヶ月連続で前年を上回る

10月の小売業販売額は前年比+0.8%と3ヶ月連続で前年を上回り、事前コンセンサス(同+0.5%、レンジ: ▲0.2~+1.2%)を小幅上振れた。前年比のプラス幅が拡大したこと、前月比でも+0.3%と9月から小幅ではあるがプラスとなっていることから判断すれば、悪くない結果だったといえる。また、7-9月期対比でも10月は+0.6%となっており、夏場に落ち込んだ水準から幾分持ち直してきている。賃金の回復の遅れ、石油製品や食料品価格の上昇、消費マインドの低迷など消費を取り巻く環境には厳しさが残っているが、10月の商業販売統計からは消費の緩やかな回復が持続する可能性が示された。

小売業販売額を業種別にみると、前年を上回ったのが、自動車小売業(前年比+2.5%)、燃料小売業(同+2.3%)、その他小売業(同+2.1%)などである。自動車小売業については、普通乗用車の新車投入効果および稼働日が前年よりも1日多かった影響もあって販売が持ち直していることが影響した。また、燃料小売業は石油製品価格が高水準で推移していることが大きい。足元まで原油価格が高水準で推移していることも勘案すると、当面、燃料小売業は前年を上回って推移するとみられる。一方、前年を下回ったのは、織物・衣服・身の回り品小売業(前年比▲1.3%)各種商品小売業(同▲1.1%)などである。10月は前半まで残暑が続き、秋物衣料の売れ行きが鈍ったことが大きな要因と考えられる。

○大型小売店販売額（既存店）は前年比▲1.8%と引き続き弱め

大型小売店販売額は前年比▲1.8%（既存店）と減少した。内訳をみると、百貨店が前年比▲1.6%、スーパーが同▲1.9%である。月前半までの残暑により秋物衣料販売が芳しくなかったこと、前年よりも休日が1日減少したことから百貨店、スーパーともに前年を下回った。また、コンビニエンスストアの販売額も客数は小幅増加したものの客単価が減少し、前年比▲0.3%（既存店）と前年を下回った。

○財消費は回復の動きとなるも、サービス消費は弱含む可能性がある

商業販売統計は財消費の統計であり、10月は幾分回復の動きが見られた。しかし、調査対象外となっているサービス消費については低調だった可能性もある。景気ウォッチャー調査におけるサービス関連DIは10月に42.3となり、9月の45.8から3.5ポイント低下した。また、（社）日本フードサービス協会公表の外食産業売上高は前年比▲2.1%（既存店）と3ヶ月ぶりに前年を下回るなどあまり良くない。同協会によれば、「昨年と比べて休みの日が1日少なかったことや下旬の週末にかけての台風の影響で客数が減少し、売上を伸ばせなかった」との判断だ。また、「相次ぐ食の不祥事や食品等の値上げ報道などが心理的に影響しているとの見方もある」とコメントしている。サービス消費を含めた個人消費の実勢は商業販売統計で示された結果よりも弱くなる可能性があり、今週末に公表となる家計調査などの結果も合わせて判断することが重要であろう。



